

クオンタムソリューションズ、タイ大手企業への販売目指し 現地で電気自動車生産を開始

2022 年 7 月 19 日、東京 - 東京証券取引所上場の電気自動車(以下、EV 車)開発会社であるクオンタムソリューションズ株式会社(東証スタンダード市場、以下「クオンタム」)は、手ごろな価格帯で信頼ができるモビリティソリューションに移行する試金石となる世界最小クラスの 4 人乗り EV 車モデル「FOMM ONE」の生産をタイで開始したことを発表しました。

日本の自動車技術者が発明した特許技術を活用する世界最小クラスの 4 人乗り EV 車「FOMM ONE」の生産は7月に開始され、現地のカーボンニュートラル社会への実現に貢献できるものとなります。

クオンタムの海外プラットフォームを統括する最高責任者のサイモン・チャン氏は、「タイはアジアの自動車製造において重要な役割を担っており、同国の EV 車市場が拡大する見込みがあります」と述べ、タイが同社のグローバル事業戦略で重要なマーケットの一つになると期待しています。

タイにはすでに多くの自動車メーカーが生産拠点を構え、アジア自動車産業のハブの一つとなっています。また、内燃機関を使う主力の輸送手段からの変革を助長する日本の大手自動車メーカー数社の研究開発施設が現地にあります。

また、タイ政府は 2030 年頃までに EV 車の登録台数を 2020 年の 6 倍以上となる 120 万台に増やすと予測され、市場成長の可能性を示唆しています。

「FOMM ONE」は、2021 年時点でタイの EV 車市場の 7%のシェアを保有しています。クオンタムはすでにタイで基盤を構築しており、さらなる市場シェアの獲得が期待できます。

クオンタムは、7 月 20 日から 22 日にタイで開催されるエネルギー省主催の「フューチャー・モビリティ・アジア」に参加し、新エネルギー車への移行がもたらす課題の議論を通じてタイでの取り組みを継続してまいります。

チャン氏は、「タイの大手企業などの顧客をはじめ、新たな顧客とお会いできることを楽しみにしています」と述べています。

クオンタムは、1 月に合弁会社のパートナーである株式会社 FOMM(以下、「FOMM」)から、中国など特定の地域において同社の「FOMM ONE」の生産・販売権を取得しました。「FOMM ONE」は、日本のアラコ株式会社(現 トヨタ車体株式会社)で EV 車の開発に携わっていた技術者が発明した特許技術を活用する、日本で軽自動車のナンバーを取得したモデルになります。

クオンタムは、FOMM との協業に加え、中国の OEM メーカーとの協業も積極的に進め、グローバルに展開してまいります。

クオンタムソリューションズ株式会社(2338.T)について

クオンタムソリューションズ株式会社(東証スタンダード市場、コード 2338)は、本社を東京都千代田区に有し、資本金 2,658 百万円、主にコンテンツ開発および配信ソフトウェア受託開発を行う企業です。

クオンタムソリューションズ、タイ大手企業への販売目指し 現地で電気自動車生産を開始

株式会社 FOMM について

株式会社 FOMM は、神奈川県に本社を置き、スズキ株式会社やアラコ株式会社での経験を経たベテランエンジニアである鶴巻日出夫氏によって 2013 年に設立。革新的な設計技術によりモビリティの企画開発を行う R&D 型の電気自動車メーカーです。

メディアの問い合わせ先:

クオンタムソリューションズ 広報代理 (Citigate Dewe Rogerson 内)

+81 (0) 80 4890 8081

QuantumSolutions@citigatedewerogerson.com